

1. 課題内容…「(分数のかけ算 わり算 6年生 1学期)」(P34~P39)
2. 準備するもの…教科書、ノート(5年生で使用していたものでいいよ)、筆記用具
3. 課題のすすめ方…できた番号には□に✓を入れましょう。
4. 池野先生より……………分数のかけ算、わり算です。この手順書では、分数のかけ算の「考え方」については表しにくいので教科書を参考にしてください。「考え方」については、学校再開後、みんな学び合うことでより分かり合えるようにしましょう。
ここでは、主に「計算の方法」を中心に予習を進めよう。

この単元のめあて

この単元の予習では・・・

分数のかけ算における「計算の方法」が分かり、実際に正しい答えが導ければOKです。

「なぜ、その答えになるのか」「なぜ、その計算方法で答えが分かるのか」について図などを用いて伝えることができれば素晴らしいですが、そこは、学校が再開してから改めてみんなと学習しましょう。

1 時間目 P35、36

□(1) 教科書P35①の問題を声に出して読もう。声に出すと頭に入りやすいよ。

声に出して読めたら、さっそく式に表してみよう。

$\frac{3}{7} \times 2$ という式が今、ノートに書けているはずですよ。

つづいて36ページを開こう。②では、あみさん、はるとさん2人の $\frac{3}{7} \times 2$ の計算の「考え方」が示されています。この2人の説明を読んで、その意味が理解できる。さらに、この2人の「考え方」を自分の言葉で話したり、ノートに書いたりできる人は素晴らしい!

③は、できる人はチャレンジしてみてください。問題には、はるとさんのしかたで説明しましょうとありますが、ノートに図をかいてあみさんの方法で説明してもいいですよ。家の人に、自分の説明を聞いてもらえるといいかもしれません。誰かに伝える方が間違いなく力になります。

ただp36②③は、学校が再開した際、みんなで学び合おうと思います。今、うまく②③ができなくても心配しなくていいですよ。

□(2) ここでは、P36のまとめを読んで、分数×整数の計算の場合、分母はそのまま分子にその整数をかけると答えが出せるということだけしっかり覚えてください。

$\frac{3}{7} \times 2$ であれば、 $\frac{3 \times 2}{7}$ となるので答えは、 $\frac{6}{7}$ となります。

では、P36△1の4問をやってみよう。

2時間目 P37

今回は、約分が出てきます。

②では、P37②の問題を読んでみよう。さん、はい！声が小さいと6年1組はやりなおしやぞ～。

□(1)式はすぐに立てられると思います。ノートにいていねいに書いているかな。

はい、その通り。 $\frac{5}{18} \times 3$ という式がノートに書かれていると思います。

約分できるのですが、P37のはるとさん、みさきさんの約分の仕方を比べてみよう。

どちらのほうが簡単かな・・・？ まず、自分で考えてみよう。

□(2)そのあと、まとめを読んでね。やっぱり、式の途中で約分した方が、まちがいは少ないね。

では、P37の△2、3をやってみよう。途中で約分してね。

3時間目 P38

□(1)P38 ③の問題を読みましよう。例のごとく声を出して！さん、はい！

問題を読んだら、①式を立ててみよう。今回はかけ算？ それとも・・・

ノートに $\frac{4}{5} \div 2$ という式が書けているかな。今回はわり算の計算です。

P38を見てもらえたら分かるように、答えが $\frac{2}{5}$ となっています。なんで答えがそうなるのか。

その「考え方」がこうたさん、しほさんの考え方としてP38に示されています。これを読んで、理解できたり、自分の言葉で説明できたりすれば素晴らしいです。ただ、1人では、難しいと思うので、ここはみんなで学校が再開したら学び合いましよう。P38②は、分かりにくかったり、自分で説明できなかったりしても心配しなくていいですよ。

□ (1) P39 ④ 計算の仕方の説明ですが、これもみんなで学校再開後、学び合いたいと思います。

このページでみんなに覚えてほしいのはまとめの部分です。**分数を整数で割る計算は、分子をそのままにして、分母にその整数をかけるということ。**

例えば $\frac{4}{5} \div 3$ であれば、かけ算は分子だったけど、わり算は分母にかける。

よって $\frac{4}{5 \times 3}$ で、答えは $\frac{4}{15}$ になります。

なぜ、分母に整数をかけると答えが出るのか。P39みさきさんの説明を参考にしてみよう。
でも、**ここでそれが難しくても大丈夫です。みさきさんのところは、学校再開後みんなで学習しましょう。**

まとめのところを参考に△4の8問をがんばってみよう。2時間目で学習したように式の途中で約分を！

池野先生のひとり言

- ①分数×整数の場合は、整数を分子にかけると答えが出る (P36)。
- ②分数÷整数の場合は、整数を分母にかけると答えが出る。(P39)。
- ③約分は最後にまとめてするのではなく、計算ミスを防ぐため途中の段階でおこなう (P37)。

今回の予習では上の3つが理解できればOKとします。

すると、今度はなんで、かけ算は分子にかけると答えが出るの？

なんで、わり算は分母にかけると答えが出るの？

という疑問がわいてきます。答えが出るまでの過程を考え、自分の言葉で伝える、ノートに書き表す、友達と伝え合う…。こういったことを学ぶのは学校再開後です。

なので、みんなは計算ができるようにこの手順書でがんばってみてくださいね。

もちろん、考え方を表現できる人は、ぜひ、ノートに書いてみてください。

一人で、教科書を見ながら進めるのは、不安もあると思います。

分かりにくいところ、不安なところは学校再開後、先生たちでいてねいに教えます。

今しばらく、家でできることをがんばってみてね。

P40の練習問題もぜひやってみてください。